

〈1〉「大学における輸出管理」の始動に向けて

経済産業大臣から文部科学大臣あてに通達「大学等の輸出管理の強化について」（平成18年3月3日）が出され、約2年半が経つ。昨年度から、CISTEC企業向けセミナーにおいても大学関係者の参加が見られるようになってきている。政府の「知的財産推進計画」においても、平成19年以降、「大学における輸出管理の強化」が盛り込まれている。しかしながら、未だ輸出管理教育や関連情報、大学の遵守規程等の整備が充分ではない状況であるといえる。こうした大学関係者の輸出管理に対する問題点を解決すべく、CISTECは「大学における適正な輸出管理」の推進の一助となるよう、来年度向けサービスメニューを検討している（（8）参照）。

その始動に向けて、一体大学にはどのような課題を抱えているのか、どのようなニーズがあるのかを探るべく、大学関係者へのアンケートの実施および現場の輸出管理担当者に対し、運用体制や学内での認知度、今後の課題についてのヒアリングを行った。ヒアリングを実施した大学は、いずれも先進的な取組みを行っており、基盤の整備ができていたことが伺える一方で、やはり各研究室単位、研究者単位での専門的な輸出管理や、海外の大学・研究機関といった共同研究となると把握できかねると頭を抱えておられた。今回、ヒアリングを行った幾つかの大学の中でも、先進的な取組みを行っている4つの大学を紹介する。掲載した大学は、改善事項は残されているものの、今後、体制構築に着手する関係者の参考になれば幸いである。

また、経済産業省で大学も含めた啓発普及を担当する安全保障貿易検査官室の牧野 守邦室長と、全国の大学を対象にして輸出管理体制についてのアンケート調査を実施された東北大学産学連携推進本部の吉田 匡准教授に、大学における自主管理体制整備の現状と問題点、課題について、それぞれ分析をしていただいた。併せて参考にしていただきたい。

ケースⅠ

「大学における輸出管理」講義を実施

於：東京大学 本郷キャンパス

10月27日（月）、東京大学（本郷キャンパス）産学連携本部からの依頼を受け、「最近の輸出管理動向（技術移転管理など）」について、テクノロジー・リエゾン・フェローの方々へCISTEC情報サービス・研修部 次長 中尾 寛が講義を行った。



ケースⅡ

「安全保障貿易管理説明会」を実施

於：福岡工業大学

11月20日福岡市東区の福岡工業大学のa棟にて総合研究機構主催の安全保障貿易管理説明会が開催され、CISTECから講師を派遣し、企業での取り組みや輸出管理の基礎に関する講義を実施した。研究室の技術該非判定など多くのご質問をいただいた。



ケースⅢ

大学の輸出管理マネージャーにヒアリング

於：東京理科大学

11月28日（金）、東京理科大学 科学技術交流センターを訪ね、東京理科大学の輸出管理の現況と今後の取組みについてお話を伺った。10数名のコーディネーター（CD）が専門のカテゴリーを担当しており、またその該非判定について審査するシステムを構築している



ケースⅤ

大学の輸出管理について検討打合せ

於：中央大学

12月4日（木）、中央大学 鈴木教授（理工学部情報工学科）と名達氏（研究支援室）を訪ね、CIS-TECの新たなサービスを紹介し、中央大学の輸出管理体制と今後の取組みについてお話を伺った。さらに、輸出管理教育における情報の発信について議論を深めた。



ケースⅣ

大学の輸出管理マネージャーにヒアリング

於：北海道大学

12月3日（水）、北海道大学 知財・産学連携本部の知的財産マネージャーである津田氏を訪ね、北海道大学における輸出管理と今後の取組みについてお話を伺った。



ケースⅥ

大学の産官学連携マネージャーにヒアリング

於：日本大学

12月16日（火）、日本大学 産官学連携知財センター（NUBIC）副センター長である金澤教授、コーディネーターの斎藤氏を訪ね、「国際産学連携相談窓口」の開設と、現場レベルでの周知活動及び輸出管理の相談に対するニーズについてお話を伺った。

